

2019年度公開セミナー「アラビア半島の歴史・文化・社会」

第2回

# オマーンからUAEの北部首長国 にかけての部族社会・政治



講師：村上 拓哉  
(中東調査会)

2019年6月5日(水)  
17:00~18:30

駒場キャンパス18号館4階  
コラボレーションルーム3

オマーンからUAEにかけては歴史的に小部族による政治連合が複数存在していたが、近代国家の成立過程において部族単位での帰属意識により各国家の形成が行われたため、飛び地が相次ぐ入り乱れた国境線が引かれることになった。しかし、部族社会を基盤とした政治は、部族の紐帯が薄れるにつれて、国境線の流動化等の新たな政治問題を生んでいる。

本講演では、オマーンとUAEの部族社会と政治の関係について考察することで、民主主義の実践に伴う諸問題について検討する。



入場無料、事前申込不要



# アラビア半島の 歴史・文化・社会 全13回(予定)

古くから人類が居住する土地として、イスラーム発祥の地として、インド洋貿易をはじめとする東西交易の中継地として、また現代社会における経済・金融活動のセンターとして、さらには中東や国際政治における無視できない主体あるいは対象として、アラビア半島とそこにある諸国家は注目を集めています。

本公開セミナーでは、各専門分野で活躍する研究者を講師に招き、アラビア半島の過去と現在を様々な角度からとらえます。そして中東地域におけるアラビア半島諸国の特徴や、アラビア半島諸国と日本の関わりなどについて、考えていきます。

## セミナースケジュール(2019年5月～7月分)

会場はすべて東京大学駒場キャンパス内です。

(1) 2019年5月25日(土) 15:00-16:30  
会場：18号館4階コラボレーションルーム3  
辻上奈美江(上智大学総合グローバル学部)  
「モール、ムタウウィウ、国家：サウジアラビアと消費主義」

(2) 2019年6月5日(水) 17:00-18:30  
会場：18号館4階コラボレーションルーム3  
村上拓哉(中東調査会)  
「オマーンからUAEの北部首長国にかけての部族社会・政治」

(3) 2019年6月29日(土) 15:00-16:30  
会場：18号館4階コラボレーションルーム3  
大川真由子(神奈川大学外国語学部)  
「オマーンにおける多様なエスニシティと国民統合」

(4) 2019年7月6日(土) 16:00-17:30  
会場：18号館4階コラボレーションルーム3  
近藤重人(日本エネルギー経済研究所)  
「外国人労働者への態度が厳しくなるクウェート」

(5) 2019年7月13日(土) 16:00-17:30  
会場：18号館4階コラボレーションルーム3  
大坪玲子(東京大学大学院総合文化研究科)  
「嗜好品から考えるイエメン社会」

問い合わせ先/Contact：  
東京大学中東地域研究センター(UTCMES)  
03-5465-7724/info@utcmes.c.u-tokyo.ac.jp  
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UTCMES>